

あ と が き

1月17日未明、激震が阪神地区を襲い、数10秒の間に5千余の貴重な人命が失われたことは、誠に悲惨であり、この紙面をかりて衷心よりお悔やみ、お見舞いする次第である。東京医大関係者にも多数罹災された方がおられ、特に昭和29年卒の田所 順先生ご夫妻には家の下敷になり一命を落とされたとのことである。心から哀悼の意を表する次第である。

本号には、国立がんセンター、名誉総長の末舛恵一先生より巻頭言を頂いた。お忙しいところご執筆頂き心から感謝申し上げる。医療というものは国によって異なっている。情報社会に生きる我々は、国際的に最も優れた医療をいち早く取り入れ、国民によりよき医療を提供し

なければならない、と我々の益々の勉学と研究を促している。我々は真摯にこれに耳を傾けるべきであろう。

53巻の1号から新しい投稿規定が発足した。10年ぶりの改定である。特記すべきは、読み物としての東京医大誌にするため「医学プラザ」なるジャンルを設けたことである。最初の執筆として、大学キャンパス動物倫理委員長長の藤波襄二先生から「動物実験計画と animal welfare」と題する一文を頂戴した。これに同調する人、反論する人の投稿を期待する。実験余話など肩の凝らない、気軽に読めるものを寄せてほしい。

(登坂恒夫 記)

幹事会 (要旨) (平成7年1月)

1. 臨床懇話会の報告があった。

開催報告

第247回 1月24日 内科学(5)

開催予定

第248回 2月28日 内科学(3)

2. 編集状況の報告並びに編集について討議した。

3. 東医大誌の英文名「THE JOURNAL OF TOKYO MEDICAL COLLEGE」、特に COLLEGE の部分の

適切性について検討したが、現在のままの英文名を使用することとなった。

4. 各講座・教室等の英文名について検討することになり、これについて医学会が調査し、継続審議することとなった。

5. 小柳庶務幹事(現在教授)の選出母体が病院助教授であるため、資格について検討されたが、慰留することとなった。

編集委員会

渋谷 健(会長)
伊東 洋(副会長)
三浦 幸雄(〃)
岩根 久夫(庶務幹事)
小柳 泰久(〃)
内野 善生(編集幹事)
高山 雅臣(〃)
登坂 恒夫(会計幹事)
友田 輝夫(〃)
阿部 公彦(委員)
一色 淳(〃)
白井 正彦(〃)
加藤 治文(〃)
斎藤 利彦(〃)
J. Patrick Barron(〃)
林 徹(〃)
福武 勝幸(〃)
星加 明德(〃)
松岡 健(〃)
水口 純一郎(〃)
水野 文雄(〃)
内田 安信(監事)
藤波 襄二(〃)

平成7年2月20日 印刷

平成7年3月1日 発行

東京医科大学雑誌 第53巻 第2号

発行者 渋谷 健

発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学総務部企画調査課内)
東京都新宿区新宿6-1-1
TEL (3351) 6141 (代)

印刷所 共立印刷株式会社
東京都中央区新川2-23-9
TEL (3551) 9891 (代)